

むずかしい漢字とことば

献立(こん・だて) 充実(じゅう・じつ) 募(つの)る 凝(こ)らす 磯辺揚(いそ・べ・あ)げ=衣に青のりをまぜたり、のりを巻いたりして油で揚げる料理。

上旬(じょう・じゅん)=月の始めから10日まで。

鬼(おに) 描(えが)いた 一環(いっ・かん) 教諭(きょう・ゆ)

普通(ふ・つう) 弾(だん) 載(の)る 油揚(あぶら・あ)げ

新美南吉(にい・み・なん・きち)

書籍(しょ・せき)=本。書物。

狙(ねら)った 端末(たん・まつ)

型抜(かた・ぬ)き 企画(き・かく) 実施(じっ・し)

徐々(じょ・じょ)に=ゆるやかなようす。 少しずつ。

上昇(じょう・しょう) 超(ちょう)

汁(しる) 煮物(に・もの)

傾向(けい・こう) 比較(ひ・かく)

残食減らす工夫凝らす

志布志市学校給食センター

志布志市では、食育や献立を充実させようと、市立学校給食センターを中心に取り組みを進めている。給食の食べ残しを減らし、食への関心を高めるため、教科書などに登場する料理を提供したり、児童生徒から好物を募ったりと工夫を凝らす。ウェブを活用した情報発信にも力を入れる。

煉獄(れんごく)さんのサツマイモも汁、福豆(ふくまめ)子のちくわの磯辺揚げ。2月上旬、市内の小中学校で並んだ給食。節分の鬼退治にちなみ、人間と鬼の対決を描いた人気アニメ「鬼滅の刃」に着想を得ている。登場人物の好物や着装と結び付けた。2024年度に始めた「物語給食」の一環、センター栄養教諭の南乃里花さん(26)が考案した。「節分なら普通、豆を使ったメニューを考えるが、人気作品を参考に楽しんでもらうよう工夫した」

物語給食の第一弾は24年11月。小学4年国語の教科

書に載る「こんぎつね」に出てくるイワシやキノコ、キツネの好物とされる油揚げを使った献立で、「魚は

苦手だったけど、食べておしかった」と好評だったという。

アイデア

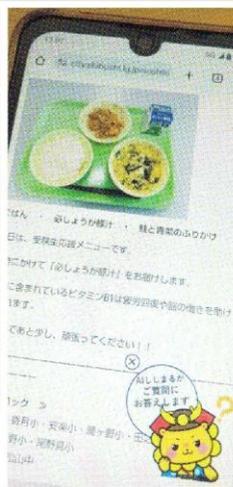
「こんぎつね給食には、市立図書館も協力。作者の新美南吉作品やレシピ本など関連書籍を並べるコーナーを設け、読書と食育のコラボレーションを狙った。センターは24年度、「わくわく給食」も開始。全児童生徒が年1回タブレット



給食人気メニューの揚げパンなどを食べる児童
—志布志市松山の泰野小



節分にちなみ、人気アニメ「鬼滅の刃」に着想を得た物語給食。給食の献立が毎日確認できる志布志市のホームページ



端末で好きな献立を投票し、人気の高いものを毎週月曜に提供している。また、ハロウィーンにカボチャ形、クリスマスに星形など型抜き野菜を入れる「ラックキースター」メニューも導入した。いずれも栄養教諭3人と指宿加奈子主任主査(せ)を中心に企画。4人が夏休み期間に残食対策を協議し、出し合ったアイデアが元になっている。

■年2回調査

取り組みのきつかけは、給食の食べ残しが目立つことだった。

市教育委員会は小学3、4年、中学2年を対象に年2回、残食調査を実施。残食率は21年度以降徐々に上昇し、24年度は10・7%。料理別では野菜サラダ30%超、ナスのみそ汁約25%など野菜を使った料理や煮物、あえ物が高かった。また、中学生が小学生より高い傾向にあった。

センターは対象や献立が毎回異なるため、単純な比較は難しいとして、29年度までの5年間で残食率を5%まで引き下げたい」と目標を設定。今後、残食を減らすプロジェクトを新たに立ち上げる方針という。



こんぎつね給食には、市立図書館も協力。作者の新美南吉作品やレシピ本など関連書籍を並べるコーナーを設け、読書と食育のコラボレーションを狙った。センターは24年度、「わくわく給食」も開始。全児童生徒が年1回タブレット



【問1】 志布志市では、給食の食べ残しを減らし、食への関心を高めるためにどんな工夫をしているでしょう。2つあげましょう。

【問2】 2月上旬の志布志市内の小学校で並んだ給食の献立を書き写しましょう。

【問3】 問2の献立は、何にちなんだ献立なのでしょう。

【問3】 問2の献立は、何の一環なのでしょう。

【調べてみよう】 自分の家の献立や給食センターの献立を調べてみよう。